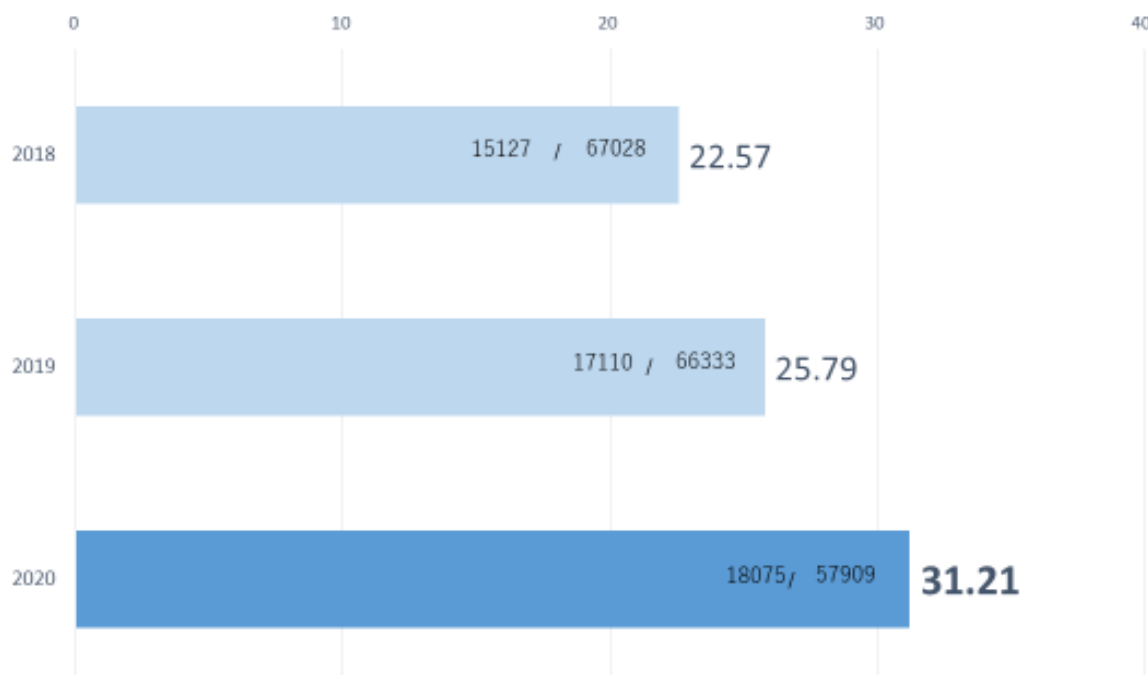


18歳以上の身体抑制率

医療の質を評価する側面
Outcome

日本病院会QIプロジェクトデータより

18歳以上の身体抑制率



単位:%

分子:分母のうち医師が提出したインシデント・アクシデント報告総件数
分母:入院患者におけるインシデント・アクシデント報告総件数

参考:2019年度 QIプロジェクト 一般病床 351医療機関

18歳以上の身体抑制率

医療の質を評価する側面
Outcome

項目の解説

入院患者のうち、安全带、ミトン、車いす用固定帯、離床センサーを使用している患者の割合です。

2020当院データの分析

稲沢市の高齢化率の上昇(65歳以上の割合 R2年度:25.3%→R3年度27.8%)に伴い、当院の入院患者も高齢化が進み、認知症ケアが必要な患者さんも増えている。

また、全国平均値と比べても高値である。当院では転倒転落を予防するためにベッドの離床センサーを積極的に活用していることが、数値を引き上げる要因にもなっている。

数値改善に向けた今後の取り組み

患者さんにあわせた個別対応策を考慮していく。